



(1) 二子山腹砂防工事、早川支川須雲川流域、神奈川縣箱根湯本町畠宿（箱根舊街道）に施工せるもの、主たる工事は山腹石垣工、張石水路工、谷止工にして施工面積199,680m²、工費143,778圓、工期昭和5年度より10年3月まで、寫眞の横一線が箱根舊街道にしてその上右より第2、第3、第4、第5、山腹工、道路の下右より第1、第6山腹工なり。

箱根二子山砂防工事

神奈川縣土木部長 和田重辰

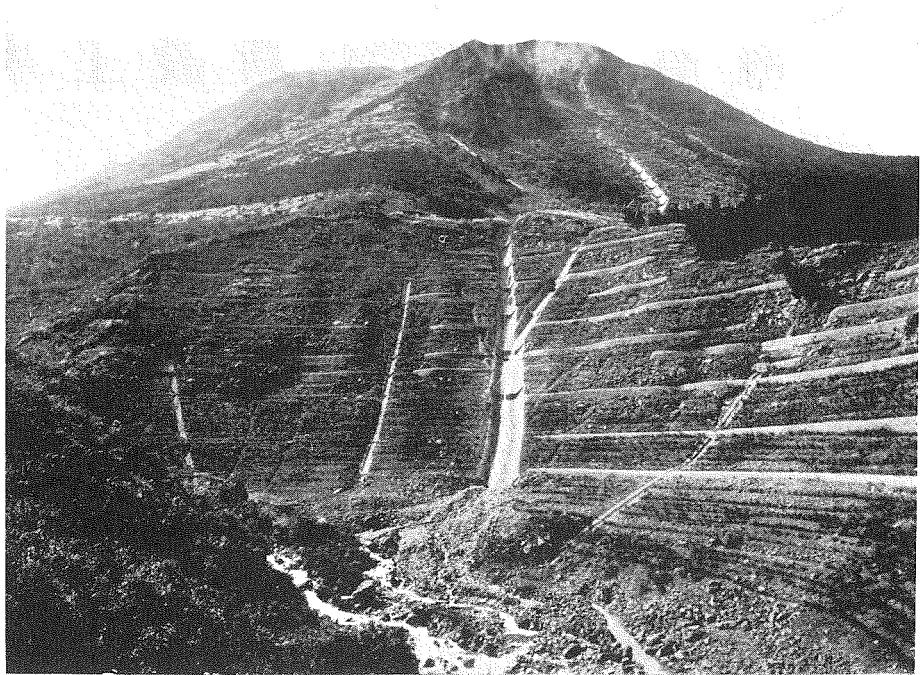
工事ノ目的

箱根二子山は關東大震災並に豆相震災により全山の崩壊激甚を極め險峻なる斷崖をなし大小無數の轉石は降雨毎に轉落激しく道路（箱根舊道）を破壊し交通を阻害し危險尠からざりしを以てこそに山腹砂防工事を起工し岩石の轉落、崩壊の擴大を防止し山腹を安定せしめ併せて交通の安全を期せり。

工事概要

施工面積20ヘクタールにして昭和五年度より九年度迄五ヶ年間を費し工費143,578圓を要せり。

主なる工種は山腹石垣工（練積及空積）張石水路工、谷止工、護岸工、資筋工なり。



(2) 二子山第一山腹工。施工個所同(1)時局匡救砂防工事として昭和8年7月着工同9年3月竣工せるものなり、主なる工事は練積及空積山腹石積工、張石水路工、護岸工、谷止工、萱筋工、施工面積52 260平方米、工費48,411.52圓を要せり。



(3) 同上、
二子山第一
山腹工。